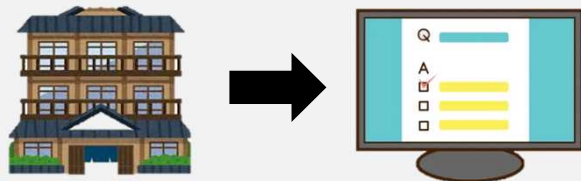


宿泊施設における各種ITツールの導入状況や、宿泊施設と観光関係事業者等との間における各種データ等の共有状況の実態に関する調査を行い、面的DXの実現に向けた課題を明らかにする。

## 調査業務の概要

### 1. 宿泊施設における各種ITツール等の導入状況調査

- (A) 調査対象地域の選定  
→運輸局所管の全地域（北海道・東北・関東・北陸信越・中部・近畿・中国・四国・九州・沖縄）を網羅
- (B) WEBフォームによるアンケート実施  
→目標有効回答数400件以上
- (C) アンケート結果集計・地域別類型化  
→宿泊施設の規模や業態（旅館・ホテル等）の違いを踏まえた分類・類型化
- (D) 宿泊施設・DMOへのヒアリング  
→Cで分類・類型化した地域の中で、代表地域を選定して実施



### 2. 宿泊施設と観光関係事業者等との間における各種データ等の共有状況に関する実態調査

- (A) 調査対象地域の選定  
→左記1のAで選定した地域の中より、国内全体の傾向が把握できるよう留意の上選定
- (B) 宿泊施設・ベンダー等へのヒアリング  
→事業者間における各種データ共有の有無、それによる生産性・収益性の差異、共有のための障壁などを調査するため、宿泊施設に加え、PMSベンダー4社、サイトコントローラーベンダー2社、OTA1社にヒアリング
- (C) 欧米におけるデータ連携の要因調査  
→欧米の業界団体を中心に、デスクリサーチにより実施

